

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド（毎月分配型）“愛称くらだし”」は、去る4月25日に第78期の決算を行いましたので、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

■本ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2025年10月27日まで
運用方針	主として、日本を含む世界の株式等に投資を行うことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託受益証券（円建て） TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデント・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス ・親投資信託 あおぞら・マネー・マザーファンド
運用方法	①主として、日本を含む世界の主要取引所に上場されている株式等（預託証券（DR）、上場投資信託（ETF）および不動産投資信託（REIT）等を含みます。）を主要投資対象とする別に定める投資信託証券に投資を行います。 ②上記に定める株式等は、主として相対的に配当利回りおよび増配の可能性が高いと判断されるものとします。 ③外国籍投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。 ④外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は分配を行わない場合があります。

あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド （毎月分配型）

愛称 **くらだし**

運用報告書（全体版）

第13作成期

決算日

第73期	2021年11月25日	第76期	2022年2月25日
第74期	2021年12月27日	第77期	2022年3月25日
第75期	2022年1月25日	第78期	2022年4月25日

あおぞら投信株式会社

AOZORA

東京都千代田区麹町6-1-1

■ホームページアドレス

<http://www.aozora-im.co.jp/>

■お問い合わせ先

<お問い合わせ窓口>

050-3199-6343

受付時間：

営業日の午前9時から
午後5時まで

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	税金	入金	期騰落	中率	債組入比	債券 投資証券	信託 比率	純総 資産	産額
第9 作成期	第49期 (2019年11月25日)	3,452		50		1.2		—	99.0		1,566
	第50期 (2019年12月25日)	3,471		50		2.0		—	97.4		1,533
	第51期 (2020年1月27日)	3,421		50		0.0		—	99.5		1,503
	第52期 (2020年2月25日)	3,274		50	△	2.8		—	97.3		1,434
	第53期 (2020年3月25日)	2,311		20	△	28.8		—	98.2		1,001
第10 作成期	第54期 (2020年4月27日)	2,411		20		5.2		—	99.4		1,043
	第55期 (2020年5月25日)	2,455		0		1.8		—	96.3		1,056
	第56期 (2020年6月25日)	2,526		10		3.3		—	97.0		1,040
	第57期 (2020年7月27日)	2,603		10		3.4		—	99.9		1,046
	第58期 (2020年8月25日)	2,669		10		2.9		—	97.4		1,065
第11 作成期	第59期 (2020年9月25日)	2,567		10	△	3.4		—	98.8		1,013
	第60期 (2020年10月26日)	2,648		10		3.5		—	97.1		1,029
	第61期 (2020年11月25日)	2,790		10		5.7		—	98.9		1,069
	第62期 (2020年12月25日)	2,772		10	△	0.3		—	97.4		1,046
	第63期 (2021年1月25日)	2,804		10		1.5		—	99.1		1,045
第12 作成期	第64期 (2021年2月25日)	2,877		10		3.0		—	96.9		1,062
	第65期 (2021年3月25日)	2,941		10		2.6		—	98.7		1,071
	第66期 (2021年4月26日)	3,027		10		3.3		—	97.3		1,086
	第67期 (2021年5月25日)	3,118		10		3.3		—	98.5		1,109
	第68期 (2021年6月25日)	3,092		10	△	0.5		—	96.4		1,088
第13 作成期	第69期 (2021年7月26日)	3,088		10		0.2		—	97.1		1,083
	第70期 (2021年8月25日)	3,130		10		1.7		—	98.9		1,083
	第71期 (2021年9月27日)	3,072		10	△	1.5		—	98.5		1,042
	第72期 (2021年10月25日)	3,127		10		2.1		—	99.4		1,056
	第73期 (2021年11月25日)	3,188		10		2.3		—	96.2		1,070
第13 作成期	第74期 (2021年12月27日)	3,216		10		1.2		—	97.4		1,071
	第75期 (2022年1月25日)	3,176		10	△	0.9		—	99.3		1,043
	第76期 (2022年2月25日)	3,075		10	△	2.9		—	96.5		996
	第77期 (2022年3月25日)	3,214		10		4.8		—	98.3		1,028
	第78期 (2022年4月25日)	3,231		10		0.8		—	99.5		1,025

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注2) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、日本を含む世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りと増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うことを基本方針としております。また、株式カバー戦略および通貨カバー戦略を活用し、オプション・プレミアム（オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指します。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

(注3) 本ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率は実質組入比率を記載しています。

■当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債 組 入 比	券 率	投 証 資 券 信 託 率
		騰 落 率	率			
第73期	(期 首) 2021年10月25日	円	%		%	%
	10月末	3,127	—		—	99.4
	(期 末) 2021年11月25日	3,141	0.4		—	99.3
第74期	(期 首) 2021年11月25日	3,198	2.3		—	96.2
	11月末	3,188	—		—	96.2
	(期 末) 2021年12月27日	3,125	△2.0		—	96.1
第75期	(期 首) 2021年12月27日	3,226	1.2		—	97.4
	12月末	3,216	—		—	97.4
	(期 末) 2022年 1 月25日	3,257	1.3		—	97.3
第76期	(期 首) 2022年 1 月25日	3,186	△0.9		—	99.3
	1 月末	3,176	—		—	99.3
	(期 末) 2022年 2 月25日	3,175	△0.0		—	99.3
第77期	(期 首) 2022年 2 月25日	3,085	△2.9		—	96.5
	2 月末	3,075	—		—	96.5
	(期 末) 2022年 3 月25日	3,156	2.6		—	96.6
第78期	(期 首) 2022年 3 月25日	3,224	4.8		—	98.3
	3 月末	3,214	—		—	98.3
	(期 末) 2022年 4 月25日	3,267	1.6		—	98.3
		3,241	0.8		—	99.5

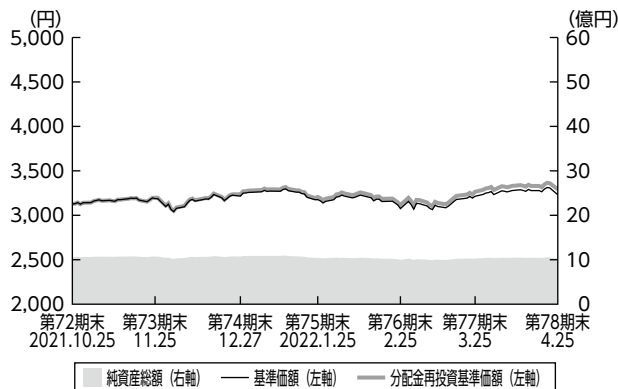
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、日本を含む世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りと増配(配当成長)の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うことを基本方針としております。また、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用し、オプション・プレミアム(オプション売却の対価として受け取る権利料)の獲得を目指します。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

(注3) 本ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率は実質組入比率を記載しています。

■運用経過（2021年10月26日～2022年4月25日）

基準価額等の推移



第73期首：3,127円

第78期末：3,231円（既払分配金60円）

騰落率：5.3%（分配金再投資ベース）

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

*分配金再投資基準価額は、期首（2021年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

*上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、当作成期末において3,231円となり、当作成期のリターンは5.3%（信託報酬控除後、分配金再投資後）の上昇となりました。当作成期においては、株式オプション戦略要因および通貨オプション戦略要因がマイナス寄与となりましたが、配当成長株式要因および為替要因がそれを上回る大幅プラス寄与となりました。

投資環境

<株式市場>

新型コロナウイルスの変異型オミクロン株は重症化や入院リスクが低いとの報告が相次いだことを背景に過度な警戒感が和らいだことに加え、ワクチン接種や治療薬開発の進展や、好調な欧米企業決算が好感され、当作成期半ばにかけて堅調に推移しました。しかし、F R B（米連邦準備制度理事会）やE C B（欧州中央銀行）による早期テーパリング（量的緩和の縮小）／利上げ前倒し観測に加えて、人件費増によるインフレ高止まりへの警戒が根強い中、ウクライナ情勢を巡る資源価格の急騰によって、スタグフレーション（景気停滞と物価上昇の同時進行）への警戒が強まったことや、中国本土での新型コロナ感染再拡大による行動制限強化によってサプライチェーン（供給網）の混乱拡大／長期化が嫌気され、当期末にかけて先進国株式市場は大幅に下落しました。

<為替市場>

当作成期は、F R Bによる出口戦略積極化への警戒に加え、変異株による新型コロナ感染急拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻に伴って、投資家のリスク回避姿勢が強まったことが円高要因となりました。半面、インフレ加速を示す経済指標が相次ぐ中、F R Bによる早期利上げとQ T（量的引き締め）開始が示唆され、米長期金利の上昇基調が続いた一方で、日銀が現行の大規模金融緩和を継続する姿勢を鮮明にしたことを受けて、日米金利差拡大が意識され、当作成期末にかけて128円台まで円安が進む展開となりました。

<短期金融市場>

短期金融市場においては、日銀がマイナス金利政策を継続する中、無担保コール翌日物がマイナス圏で推移したほか、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りが-0.15%前後から-0.05%前後で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオ

本ファンドの運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍円建て外国投資信託受益証券「TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス」への組入比率を高位に保つことで、主として、世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りと増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うと同時に、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用してオプション・プレミアム（オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指すことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

組入ファンドにおける当期の運用状況は以下の通りです。

<TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス>

S & P 500配当貴族指数およびS & Pグローバル配当貴族指数の構成銘柄を中心として、世界の主要取引所に上場されている相対的に配当利回りが高く増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等を組み入れると同時に、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用してオプション・プレミアム（オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指すことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。2022年3月末時点の組入銘柄数は38銘柄、加重平均配当利回りは2.6%（年率）となっています。

一方、株式カバードコール戦略は、組み入れている38銘柄に対してコール・オプションを売却し、2022年3月末時点でのカバー率は72.8%、オプション・プレミアムは7.4%（年率）、平均行使価格は103.6%、平均行使期間は32.5日となっています。

また、通貨カバードコール戦略に関しては、2022年3月末時点でのカバー率は96.2%、オプション・プレミアムは9.1%（年率）、平均行使価格は100.2%、平均行使期間は35.0日となっています。

<あおぞら・マネー・マザーファンド>

本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。主要投資対象となっていた第336回利付国債（2年）が2016年1月に償還を迎えた後、有担保コール翌日物および金銭信託による運用を続けてきましたが、当期末時点では有担保コール翌日物が主要投資対象となっています。

当該投資信託のベンチマークとの差異

本ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金（1万口当たり、税引前）

本ファンドの収益分配方針に従い、基準価額水準や市場動向等を勘案し第73期から第78期まで各期10円の収益分配を行いました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

	第73期		第74期		第75期		第76期		第77期		第78期	
	自 至	2021年10月26日 2021年11月25日	自 至	2021年11月26日 2021年12月27日	自 至	2021年12月28日 2022年1月25日	自 至	2022年1月26日 2022年2月25日	自 至	2022年2月26日 2022年3月25日	自 至	2022年3月26日 2022年4月25日
当期分配金		10		10		10		10		10		10
(対基準価額比率)		0.313		0.310		0.314		0.324		0.310		0.309
当期の収益		—		—		—		—		—		—
当期の収益以外		10		10		10		10		10		10
翌期繰越分配対象額		1,744		1,734		1,724		1,714		1,704		1,694

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<本ファンド>

今後も当初の運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍円建て外国投資信託受益証券「TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス」への組入比率を高位に保つことで、主として、世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りと増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うと同時に、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用してオプション・プレミアム（オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指すことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

<TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス>

当作成期は、新型コロナウイルスからの回復基調が続く中、予想を上回るインフレ高騰／高止まりや、主要中央銀行による出口戦略積極化、ロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの高まりなどがありました。

リスク資産は、当作成期初は概ね堅調でしたが、インフレ懸念の強まりやロシアによるウクライナ侵攻が下押し圧力となりました。当作成期後半には、インフレ抑制のためのFRBの積極的な利上げによって、来年に景気後退に陥る可能性への懸念が強まりました。3月の米CPI（消費者物価指数）は前年同月比8.5%上昇し、1981年以来の急激な上昇となりました。一方、FRBが注目しているコアPCE（個人消費支出）デフレーターは、2月に前年比5.4%増と約40年ぶりの大幅上昇となりました。3月には5.2%増とわずかに減速したものの、物価上昇圧力が強まっています。ウクライナ情勢の緊迫化／長期化や中国での新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限の強化によって、サプライチェーンの混乱が段階的に解消され、インフレ圧力が緩和されるとの期待も後退しました。3月の米雇用統計で、失業率が3.6%に低下しましたが、労働市場のひっ迫がさらなる賃上げのきっかけとなり、前年比5.6%増にとどまっている平均時給の伸びがCPIに追いつく形で賃金／物価上昇スパイラルに陥る可能性があります。米国債券市場が過去40年で最悪の四半期となった後も、米10年債利回りの上昇が続いています。今後12～18か月の間に、FRBが政策金利を中立水準とされる3.25%まで引き上げることと織り込む形で、米10年債利回りは、3月末から当期末にかけて、2.34%から2.94%へと、さらに0.6%上昇しました。その結果、リスクオフの動きが一段と強まり、ハイテク株比率が高いナスダック総合指数に含まれる銘柄を中心に、株式市場は急速に下げ足を速めました。

このような環境下においても、本ファンドの投資方針に変更はありません。リスク対比で良好なリターンを獲得出来ると判断した企業に投資を続けると同時に、市場リスクからの乖離を厳格に管理するというものです。景気動向に業績が左右されにくい特性を持つ企業に投資することによって、今後のボラティリティ上昇局面をうまく乗り切ることができると考えています。

また、本ファンドのカバードコール戦略については、引き続き、カバー率を高め、平均行使期間を長期化することで、インプライド・ボラティリティ（予想変動率）の上昇を享受すると同時に、行使価格から離れたオプションを活用することによって、株式市場の上下動を回避することを目指しています。しばらくは相応な注意が必要であると考えていますが、カバードコール戦略を含めたディフェンシブな本ファンドの戦略が、中長期的にプラス寄与することを期待しています。

<あおぞら・マネー・マザーファンド>

今後も当初の運用方針に従い、引き続き、本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細（2021年10月26日～2022年4月25日）

項目	第73期～第78期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	18	0.568	(a) 信託報酬＝〔当作成期間中の平均基準価額〕×信託報酬率 当作成期間中の平均基準価額は3,186円です。
(投信会社)	(9)	(0.277)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(9)	(0.277)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(0)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.099	(b) その他費用＝ $\frac{〔当作成期間中のその他費用〕}{〔当作成期間中の平均受益権口数〕}$
(監査費用)	(1)	(0.035)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(2)	(0.065)	目論見書等の法定書類の作成・印刷・届出および交付に係る費用ならびにファンドの計理業務およびこれらに付随する業務に係る費用
合計	21	0.667	

(注1) 当作成期間中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を当作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.10%です。

経費率（①+②）	2.10%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

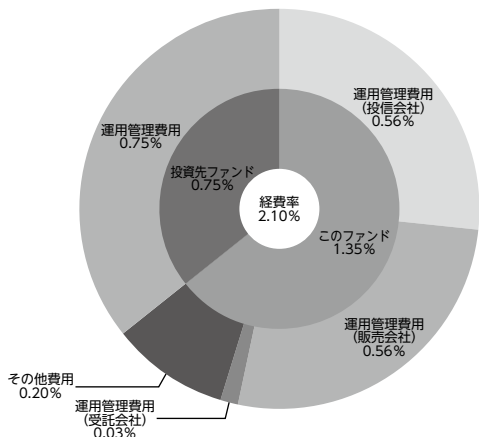
(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



■売買及び取引の状況 (2021年10月26日から2022年4月25日まで) 投資信託証券、投資証券

銘柄名	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外 国 シ TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・ プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス	□ -	千円 -	□ 40,020	千円 90,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2021年10月26日から2022年4月25日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の支払いはありません。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年10月26日から2022年4月25日まで) 該当事項はございません。

■委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券の自己取引状況 (2021年10月26日から2022年4月25日まで) 該当事項はございません。

■組入資産の明細 (2022年4月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末			
	□数	□数	評価額	比率
(ケイマン) TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・ プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス	□ 481,612	□ 441,591	千円 1,020,959	% 99.5
合 計	481,612	441,591	1,020,959	99.5

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

(2) 親投資信託残高

銘	柄	前作成期末		当作成期末	
		□	数	□	数
			千□		千円
あおぞら・マネー・マザーファンド			99		99

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 親投資信託の受益権総口数は100,089千口です。

■投資信託財産の構成

2022年4月25日現在

項	目	当作成期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		1,020,959	98.8
あおぞら・マネー・マザーファンド		99	0.0
コール・ローン等、その他		12,187	1.2
投資信託財産総額		1,033,245	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	第73期末 2021年11月25日	第74期末 2021年12月27日	第75期末 2022年1月25日	第76期末 2022年2月25日	第77期末 2022年3月25日	第78期末 2022年4月25日
(A) 資	産	1,075,887,100円	1,078,691,094円	1,050,794,369円	1,001,367,420円	1,038,486,780円	1,033,245,773円
	コール・ローン等	45,889,113	34,850,385	15,259,303	39,040,012	27,142,720	12,186,709
	投資信託受益証券(評価額)	1,029,898,546	1,043,741,268	1,035,435,635	962,227,987	1,011,244,649	1,020,959,663
	あおぞら・マネー・マザーファンド(評価額)	99,441	99,441	99,431	99,421	99,411	99,401
(B) 負	債	5,358,236	7,275,602	7,732,747	4,438,795	9,574,999	7,644,418
	未払収益分配金	3,358,470	3,332,000	3,284,176	3,241,981	3,201,111	3,174,693
	未払解約金	787,444	2,699,204	3,301,052	18,825	5,337,964	3,284,227
	未払信託報酬	1,031,077	1,058,386	976,028	1,001,891	881,079	1,008,341
	未払利息	125	94	41	104	74	31
	その他未払費用	181,120	185,918	171,450	175,994	154,771	177,126
(C) 純	資産総額(A-B)	1,070,528,864	1,071,415,492	1,043,061,622	996,928,625	1,028,911,781	1,025,601,355
	元本	3,358,470,099	3,332,000,473	3,284,176,050	3,241,981,126	3,201,111,680	3,174,693,567
	次期繰越損益金	△2,287,941,235	△2,260,584,981	△2,241,114,428	△2,245,052,501	△2,172,199,899	△2,149,092,212
(D) 受	益権総口数	3,358,470,099□	3,332,000,473□	3,284,176,050□	3,241,981,126□	3,201,111,680□	3,174,693,567□
	1万口当たり基準価額(C/D)	3,188円	3,216円	3,176円	3,075円	3,214円	3,231円

(注1) 第73期首元本額は3,377,006,135円、第73～78期中追加設定元本額は30,804,403円、第73～78期中一部解約元本額は233,116,971円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第73期0.3188円、第74期0.3216円、第75期0.3176円、第76期0.3075円、第77期0.3214円、第78期0.3231円です。

(注3) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第73期2,287,941,235円、第74期2,260,584,981円、第75期2,241,114,428円、第76期2,245,052,501円、第77期2,172,199,899円、第78期2,149,092,212円です。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンド監査は終了していません。

■損益の状況

項 目	第 73 期	第 74 期	第 75 期	第 76 期	第 77 期	第 78 期
	自2021年10月26日 至2021年11月25日	自2021年11月26日 至2021年12月27日	自2021年12月28日 至2022年1月25日	自2022年1月26日 至2022年2月25日	自2022年2月26日 至2022年3月25日	自2022年3月26日 至2022年4月25日
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,423円	△ 3,909円	△ 2,270円	△ 3,187円	△ 2,822円	△ 1,825円
受 取 利 息	-	-	-	-	-	5
支 払 利 息	△ 1,423	△ 3,909	△ 2,270	△ 3,187	△ 2,822	△ 1,830
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	24,873,077	13,906,538	△ 8,548,108	△ 28,310,748	48,790,118	9,541,067
売 買 益	24,982,956	13,938,973	18,738	512,475	49,023,757	9,714,846
売 買 損	△ 109,879	△ 32,435	△ 8,566,846	△ 28,823,223	△ 233,639	△ 173,779
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,212,197	△ 1,244,304	△ 1,147,478	△ 1,177,885	△ 1,035,850	△ 1,185,467
(D) 当 期 損 益 (A+B+C)	23,659,457	12,658,325	△ 9,697,856	△ 29,491,820	47,751,446	8,353,775
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,152,201,450	△1,120,139,595	△1,092,565,087	△1,089,061,546	△1,104,917,968	△1,049,454,856
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,156,040,772	△1,149,771,711	△1,135,567,309	△1,123,257,154	△1,111,832,266	△1,104,816,438
(配 当 等 相 当 額)	(1,341,271)	(782,352)	(798,067)	(765,426)	(981,835)	(611,862)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,157,382,043)	(△1,150,554,063)	(△1,136,365,376)	(△1,124,022,580)	(△1,112,814,101)	(△1,105,428,300)
(G) 計 (D+E+F)	△2,284,582,765	△2,257,252,981	△2,237,830,252	△2,241,810,520	△2,168,998,788	△2,145,917,519
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,358,470	△ 3,332,000	△ 3,284,176	△ 3,241,981	△ 3,201,111	△ 3,174,693
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△2,287,941,235	△2,260,584,981	△2,241,114,428	△2,245,052,501	△2,172,199,899	△2,149,092,212
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,157,382,043	△1,150,554,063	△1,136,365,376	△1,124,022,580	△1,112,814,101	△1,105,428,300
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,157,382,043)	(△1,150,554,063)	(△1,136,365,376)	(△1,124,022,580)	(△1,112,814,101)	(△1,105,428,300)
分 配 準 備 積 立 金	586,002,936	578,052,494	566,470,991	555,950,514	545,740,864	538,062,121
繰 越 損 益 金	△1,716,562,128	△1,688,083,412	△1,671,220,043	△1,676,980,435	△1,605,126,662	△1,581,726,033

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 第73期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (1,341,271円) および分配準備積立金 (588,020,135円) より分配対象収益は589,361,406円 (10,000口当たり1,754円) であり、うち3,358,470円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

(注5) 第74期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (782,352円) および分配準備積立金 (580,602,142円) より分配対象収益は581,384,494円 (10,000口当たり1,744円) であり、うち3,332,000円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

(注6) 第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (798,067円) および分配準備積立金 (568,957,100円) より分配対象収益は569,755,167円 (10,000口当たり1,734円) であり、うち3,284,176円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

(注7) 第76期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (765,426円) および分配準備積立金 (558,427,069円) より分配対象収益は559,192,495円 (10,000口当たり1,724円) であり、うち3,241,981円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

(注8) 第77期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (981,835円) および分配準備積立金 (547,960,140円) より分配対象収益は548,941,975円 (10,000口当たり1,714円) であり、うち3,201,111円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

(注9) 第78期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (611,862円) および分配準備積立金 (540,624,952円) より分配対象収益は541,236,814円 (10,000口当たり1,704円) であり、うち3,174,693円 (10,000口当たり10円) を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

（注1） 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

（注2） 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

（注3） 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

お知らせ

2022年6月1日よりお問い合わせ電話番号が以下の通り変更となりました。

変更前：2022年5月31日まで 03-6752-1051

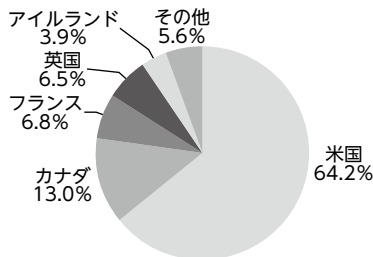
変更後：2022年6月1日から 050-3199-6343

■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2022年3月31日現在のものです。本データは、TCWアセット・マネジメント・カンパニーからのデータを基に委託会社が作成したものです。

(注2) 各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

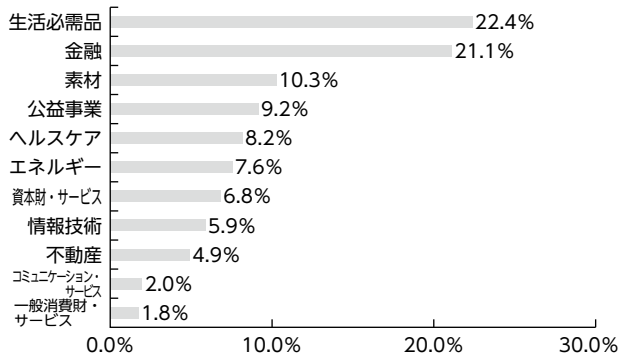
○国別構成比



(注1) 国は当該銘柄の本社所在国を示しています。

(注2) 保有株式の時価総額に対する割合です。

○業種別構成比



(注) 保有株式の時価総額に対する割合です。

○ポートフォリオ特性値

通貨ポジション 米ドル 100.0%

株式配当利回り 2.6%

	株式オプション部分	通貨オプション部分
カバー率	72.8%	96.2%
オプション・プレミアム (年率)	7.4%	9.1%
平均行使価格	103.6%	100.2%
平均行使期間	32.5日	35.0日

(注1) 配当利回りは組入れ銘柄 (株式等) の加重平均配当利回り (実績配当ベース、税引前) です。

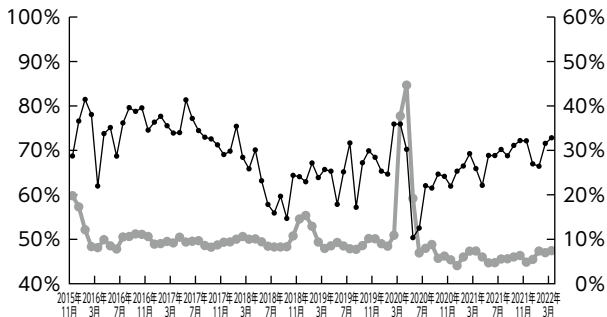
(注2) カバー率とは、保有資産に対するコール・オプションのポジションの割合です。

(注3) オプション・プレミアム (年率) は、カバードコール戦略におけるプレミアム収入を年率換算の上、当期末純資産残高で除して算出しています。

(注4) 平均行使価格とは、コールオプションの平均行使価格をオプション取引の対象となる原資産 (株式・通貨等の価格) の平均時価に対する比率で示したものです。

株式カバードコール戦略

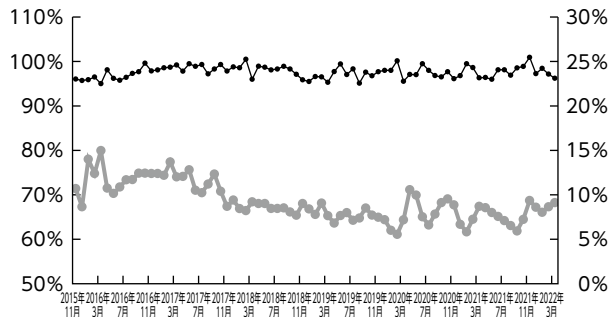
カバー率、オプション・プレミアム (年率) の推移



— カバー率 (左軸) — オプション・プレミアム (右軸・年率)

通貨カバードコール戦略

カバー率、オプション・プレミアム (年率) の推移



— カバー率 (左軸) — オプション・プレミアム (右軸・年率)

<指定投資信託証券の概要>

ファンド名	TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス
ファンド形態	ケイマン籍外国投資信託受益証券（円建て）
投資目的	インカムゲインの確保、オプション・プレミアムの獲得および値上がり益の最大化を目指します。
主な投資対象	<p>①日本を含む世界各国の取引所に上場されている株式等（預託証券（DR）、上場投資信託（ETF）および不動産投資信託（REIT）等を含みます。）に投資を行い、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。また、インカムゲインの確保に加え、株式カバーコール戦略を活用し、オプション・プレミアムの獲得を目指します。</p> <p>②原則として、相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行います。なお、資産規模等により上記のような運用が困難な場合は、上場投資信託（ETF）を通じて株式カバーコール戦略を行うことがあります。</p> <p>③通貨カバーコール戦略を活用し、オプション・プレミアムの獲得を目指します。</p> <p>④上記のカバーコール戦略で獲得したオプション・プレミアムの一部を用いて、株価および投資対象通貨の対円での下落時における損失の一部軽減を目的として、株式および株価指数の上場プット・オプションおよび投資対象通貨のプット・オプションを購入する場合があります。</p>
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、ファンドの純資産総額の5%以内とします。</p> <p>④流動性に欠ける資産への投資は行いません。</p>
投資顧問会社	TCWアセット・マネジメント・カンパニー
決算日	毎年3月31日

■中間損益計算書

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)

TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス

	(米ドル)
収益	
受取配当金	154,195
その他収益	18
収益合計	<u>154,213</u>
費用	
管理報酬	(66,895)
運用報酬	(36,330)
取引費用	(12,933)
弁護士費用	(15,621)
保管費用	(18,067)
受託費用	(11,742)
ファンド設立費用	0
その他費用	(923)
運営費用合計	<u>(162,511)</u>
純運用収益	(8,298)
実現損益および未実現損益	
実現損益	
金融資産評価損益	496,763
外国為替予約取引	(170,811)
外国為替取引	(2)
純未実現損益 (減価償却)	
金融資産評価損益	47,850
外国為替取引	(13)
オプション取引	0
純実現損益および純未実現損益	373,787
税引前純損益	365,489
税金	(37,844)
税引後純損益	<u>327,645</u>
期初純資産合計	9,727,381
税引後純損益	327,645
支払分配金	0
設定額	0
解約額	<u>(986,178)</u>
期中純資産増減額	<u>(658,533)</u>
期末純資産合計	<u>9,068,848</u>

(注1) () 内の金額はマイナスの金額です。

(注2) 上記内容は、TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラスの Semi-Annual Reportから抜粋し、委託会社が翻訳したものです。

■保有有価証券明細（2021年9月30日現在）

株式

銘柄名称	株数	評価額（米ドル）	構成比率（%）	国名
CANADIAN IMPERIAL BANK OF COMMERCE	4,109	457,332	5.04	Canada
BANK OF MONTREAL	4,346	433,427	4.78	Canada
GLAXOSMITHKLINE PLC	9,033	345,151	3.81	United Kingdom
TOTALENERGIES SE	7,091	339,872	3.75	France
LINDE PLC	1,139	334,160	3.68	Ireland
NUCOR CORP	2,984	293,894	3.24	United States
EXXON MOBIL CORP	4,900	288,218	3.18	United States
UNILEVER PLC	5,248	284,547	3.14	United Kingdom
T ROWE PRICE GROUP INC	1,341	263,775	2.91	United States
CANON INC	10,595	258,306	2.85	Japan
CHUBB LTD	1,401	243,045	2.68	Switzerland
CATERPILLAR INC	1,238	237,659	2.62	United States
PEPSICO INC	1,570	236,144	2.60	United States
AFLAC INC	4,484	233,751	2.58	United States
ESSEX PROPERTY TRUST INC	714	228,294	2.52	United States
NEXTERA ENERGY INC	2,887	226,687	2.50	United States
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	3,698	221,917	2.45	United States
ABBOTT LABORATORIES	1,848	218,304	2.41	United States
MCDONALD'S CORP	881	212,418	2.34	United States
MCCORMICK & CO INC/MD	2,620	212,299	2.34	United States
PPL CORP	7,571	211,079	2.33	United States
AUTOMATIC DATA PROCESSING INC	1,048	209,516	2.31	United States
CONSOLIDATED EDISON INC	2,831	205,502	2.27	United States
WALMART INC	1,455	202,798	2.24	United States
EXPEDITORS INTERNATIONAL OF WASHINGTON INC	1,690	201,330	2.22	United States
AT&T INC	7,300	197,173	2.17	United States
CLOROX CO/THE	1,188	196,745	2.17	United States
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	644	180,146	1.99	United States
KIMBERLY-CLARK CORP	1,348	178,529	1.97	United States
REALTY INCOME CORP	2,701	175,187	1.93	United States
COCA-COLA CO/THE	3,328	174,620	1.93	United States
BANK OF NOVA SCOTIA/THE	2,812	173,022	1.91	Canada
COLGATE-PALMOLIVE CO	2,259	170,735	1.88	United States
SANOFI	3,523	169,844	1.87	France
VW GRAINGER INC	427	167,837	1.85	United States
FRANKLIN RESOURCES INC	5,630	167,324	1.85	United States
FORTIS INC/CANADA	3,625	160,696	1.77	Canada
MERCURY GENERAL CORP	2,871	159,829	1.76	United States
株式合計		8,871,110	97.82	

株式オプション取引

銘柄名称	数量	評価額 (米ドル)	構成比率 (%)	国名
CANADIAN IMPERIAL BANK OF COMMERCE	3,100	(1,627)	(0.02)	Canada
BANK OF MONTREAL	3,300	(2,558)	(0.03)	Canada
GLAXOSMITHKLINE PLC	6,300	(473)	(0.01)	United Kingdom
LINDE PLC	900	(315)	(0.00)	Ireland
TOTALENERGIES SE	5,700	(17,955)	(0.20)	France
NUCOR CORP	2,200	(5,885)	(0.06)	United States
UNILEVER PLC	4,300	(323)	(0.00)	United Kingdom
EXXON MOBIL CORP	3,900	(12,772)	(0.14)	United States
T ROWE PRICE GROUP INC	900	(113)	(0.00)	United States
CANON INC	5,300	(15,105)	(0.17)	Japan
CHUBB LTD	1,100	(2,228)	(0.02)	Switzerland
CATERPILLAR INC	800	(172)	(0.00)	United States
PEPSICO INC	1,300	(507)	(0.01)	United States
AFLAC INC	3,600	(2,520)	(0.03)	United States
ESSEX PROPERTY TRUST INC	600	(1,245)	(0.01)	United States
NEXTERA ENERGY INC	2,200	(165)	(0.00)	United States
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	2,800	(1,820)	(0.02)	United States
ABBOTT LABORATORIES	1,500	(480)	(0.01)	United States
MCCORMICK & CO INC/MD	1,800	(225)	(0.00)	United States
MCDONALD'S CORP	700	(533)	(0.01)	United States
PPL CORP	5,700	(285)	(0.00)	United States
AUTOMATIC DATA PROCESSING INC	800	(2,400)	(0.03)	United States
CONSOLIDATED EDISON INC	2,000	(850)	(0.01)	United States
WALMART INC	1,100	(66)	(0.00)	United States
EXPEDITORS INTERNATIONAL OF WASHINGTON INC	1,400	(3,220)	(0.04)	United States
AT&T INC	4,700	(258)	(0.00)	United States
CLOROX CO/THE	1,000	(1,300)	(0.01)	United States
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	500	(750)	(0.01)	United States
KIMBERLY-CLARK CORP	1,100	(687)	(0.01)	United States
REALTY INCOME CORP	2,000	(550)	(0.01)	United States
COCA-COLA CO/THE	2,700	(391)	(0.00)	United States
BANK OF NOVA SCOTIA/THE	1,700	(2,805)	(0.03)	Canada
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,700	(935)	(0.01)	United States
SANOFI	2,800	(2,380)	(0.03)	France
FRANKLIN RESOURCES INC	4,200	(525)	(0.01)	United States
WW GRAINGER INC	300	(1,845)	(0.02)	United States
FORTIS INC/CANADA	2,700	(742)	(0.01)	Canada
MERCURY GENERAL CORP	2,300	(1,380)	(0.02)	United States
株価オプション取引合計		(88,390)	(0.97)	

(注) () 内の数値はマイナスの数値です。

通貨オプション取引

銘柄名称	数量	評価損益 (米ドル)	構成比率 (%)
JPY Put USD Call @ 109.00 OTC Opt	9,050,000	(161,443)	(1.78)
通貨オプション取引合計		(161,443)	(1.78)

(注) () 内の数値はマイナスの数値です。

あおぞら・マネー・マザーファンド

第8期

決算日 2022年3月15日

(計算期間：2021年3月16日～2022年3月15日)

「あおぞら・マネー・マザーファンド」は、2022年3月15日に第8期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、本マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

ファンド名	あおぞら・マネー・マザーファンド
ファンド形態	親投資信託
投資目的	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ②投資信託証券への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ③外貨建資産への投資は行いません。
委託会社	あおぞら投信株式会社
決算日	毎年3月15日

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
第4期 (2018年3月15日)	円 9,982	% △0.1		% -	百万円 100
第5期 (2019年3月15日)	9,972	△0.1		-	100
第6期 (2020年3月16日)	9,962	△0.1		-	99
第7期 (2021年3月15日)	9,952	△0.1		-	99
第8期 (2022年3月15日)	9,942	△0.1		-	99

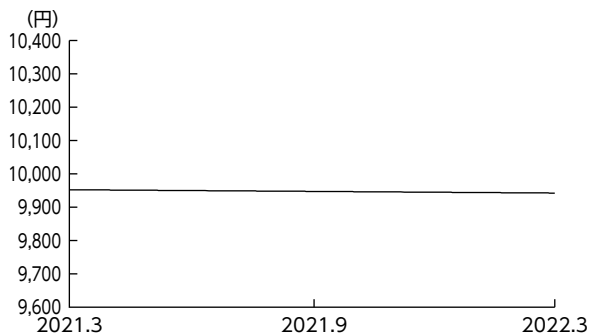
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比	券 率
(期 首) 2021年3月15日	円 9,952	% -		% -
3月末	9,952	0.0		-
4月末	9,951	△0.0		-
5月末	9,950	△0.0		-
6月末	9,949	△0.0		-
7月末	9,949	△0.0		-
8月末	9,948	△0.0		-
9月末	9,947	△0.1		-
10月末	9,946	△0.1		-
11月末	9,945	△0.1		-
12月末	9,944	△0.1		-
2022年1月末	9,944	△0.1		-
2月末	9,943	△0.1		-
(期 末) 2022年3月15日	9,942	△0.1		-

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過 (2021年3月16日～2022年3月15日)

基準価額の推移 (2021年3月16日～2022年3月15日)



基準価額の主な変動要因

本マザーファンドの基準価額は、当期末において9,942円になりました。期中を通じて日銀のマイナス金利政策が継続し、短期金融市場での利回りがマイナスで推移したことから、基準価額が下落しました。

投資環境

2016年1月29日の日銀金融政策決定会合においてマイナス金利を導入したことから、無担保コール翌日物が-0.04%前後の水準で推移すると同時に、国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りも-0.16%~-0.07%で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオ

本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。主要投資対象となっていた第336回利付国債(2年)が2016年1月に償還を迎えた後、有担保コール翌日物および金銭信託による運用を続けてきましたが、当期末時点では有担保コール翌日物が主要投資対象となっています。

今後の運用方針

今後も当初の運用方針に従い、引き続き、本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2021年3月16日から2022年3月15日まで)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円 0	% 0.000	(a) その他費用 = $\frac{\text{【期中のその他費用】}}{\text{【期中の平均受益権口数】}}$ 期中の平均基準価額は9,947円です。 金銭信託にかかる手数料
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年3月16日から2022年3月15日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期における売買委託手数料の支払いはありません。

■ 組入資産の明細 (2022年3月15日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成

2022年3月15日現在

項 目	当 期		末	
	評 価	額	比	率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他		千円		%
		99,513		100.0
投 資 信 託 財 産 総 額		99,513		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年3月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産 コ ー ル ・ ロ ー ン 等	99,513,851円 99,513,851
(B) 負 債 未 払 解 約 金 未 払 利 息	695 423 272
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	99,513,156
元 本	100,089,771
次 期 繰 越 損 益 金	△ 576,615
(D) 受 益 権 総 口 数	100,089,771口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	9,942円

(注1) 第8期首元本額は100,290,627円、期中追加設定元本額は0.0円、期中一部解約元本額は200,856円です。

(注2) 1口当たり純資産額は0.9942円です。

(注3) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は576,615円です。

(注4) 期末における元本の内訳

あおぞら・マネーファンド (適格機関投資家専用) 99,989,780円

あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド (毎月分配型) 99,991円

※本マザーファンドは監査対象ではありません。

■損益の状況

自2021年3月16日 至2022年3月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 99,497円
支 払 利 息	△ 99,497
(B) 当 期 損 益 金(A)	△ 99,497
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	△478,184
(D) 解 約 差 損 益 金	1,066
(E) 計 (B+C+D)	△576,615
次 期 繰 越 損 益 金(E)	△576,615

(注) 損益の状況の中で(D)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はありません。